

木
丹
地
法
全

館
函
架
號

大
本
教
育
書
會
館

第
二
室

三
五
七
一
冊

四
架
號

五
函

266
6
322

K110.27
17

B

7

1151



許 免 權 版

阪部教宜編輯

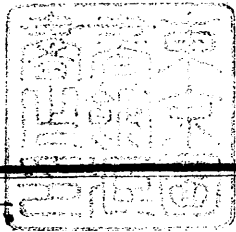
榎木縣地誌略

二書房發兌

榎木縣地誌略

緒言

一地理ノ學、我本國ヲ講究スルヲ以テ、萬矢トナス、
 是、下等小學教科中、本縣地誌ノ、欠ク可カラサル
 所以ナリ、而シテ、曩キニ、川上氏、下野地誌略ノ著
 アリ、頗ル好書トナス、然レモ、往々ホリチカルゼ
 涉ルヲ以テ、下等小學ノ用書ニ適
 憾ヲ免カレサルカ如シ、コレ余カ
 カラサル所以ナリ、
 下等小學ノ用本ニ供スルヲ以テ、總テ



榎木縣地誌略

簡易ヲ貴ヒ、詳悉ヲ要セス、行文モ亦高尚ヲ期セ
スシテ、生徒ノ通曉シ易キヲ欲ス、

一書中挿入スル所ノ圖モ亦詳細ヲ要セス、僅カニ
有名ノモノニ二三ヲ舉クルノミ、

一此書、下野地誌略ト相出入スルモノ、固ヨリ同一
ノ地理タルヲ以テナリ、看者摸倣飭飭トナス勿
レ、

明治十年十一月

編者誌

栃木縣地誌略

我栃木縣ハ、東山道ノ中央ニ位セル、下野全國ニシ
テ、東南ハ常陸、下総ニ界シ、西北ハ上野、岩代、磐城ニ
接ス、

下野ハ、往古上野ト共ニ、一國ニシテ、曠漠タル草
野ナリシ故ニ、毛野國ト稱セシカ、仁徳帝ノ朝ニ
至リテ、分チテ上下二國トナシ、下毛野ト稱ス、後
又下野ト改ム、

全國ノ形勢ハ、東北ヨリ斜ニ西南ニ延ヒ、其形恰モ

六藏ノ龜ノ如シ、幅員一百二十有餘方里アリ、
全國ヲ大別シテ都賀、安蘇、足利、梁田、寒川、河内、茅賀、
那須、塩谷ノ九郡トシ、又之ヲ別チテ、一千一百八十
五町村トシ、而シテ人口五十二万八千六百ヲ算ス、
都賀郡ハ、本國ノ南部ヨリ、北部ニ延フル、一大郡ニ
シテ、西ハ安蘇郡ニ界シ、南部ハ西一半、渡良瀬川ヲ
隔テ、上野ノ邑樂郡ト相對シ、東一半下総ノ猿島、
葛飾、結城ノ三郡ニ連リ、東ハ斜メニ河内郡ヲ控ヘ、
北端ハ、塩谷郡及ヒ、上野ノ利根郡ト相接壤ス、而シ
テ南部ノ一隅ニ於テ、寒川ノ小郡ヲ抱ケリ、

地勢北部ハ高山峻嶺相層リ、漸ク南シテ漸ク夷ラ
カニ、中央以南ニ至リテハ、田畝相連リ、全國第一ノ
沃土トス、

黒髮山ハ、西北隅ニ聳ユル、全國第一ノ高山ニシテ、
世ニ之ヲ男体山ト云ヒ、又日光山ト稱ス、山腹ニ湖
アリ、中禪寺湖ト稱シ、蔓延廣大ニシテ、其溢流スル
モノ、之ヲ華嚴瀑ト稱ス、即チ大谷川ノ水源ナリ、
華嚴瀑ハ、其高さ七十餘丈、幅十五間アリテ、本邦
三大瀑布ノ一ト稱ス、其他觀背、霧降、寂光等、有名
ノモノ多シ、

庚申山ハ其勢險峻ニシテ、黒髮山ト其脈ヲ連ヌ山
中ニ礪アリ、之ヲ足尾銅山ト稱ス、

白根、温泉岳、二子、女峯、太郎、赤薙、真名子、石裂、諸山
ハ、本郡ノ北部ニ圍繞シ、頗ル峻嶮ノ勢ヲナセリ、

三義、伊吹、太平、出流、岩舟、諸山ハ、本郡ノ西部ニ散
列シ、高峯ニ非スト雖、皆名境異跡トス、

渡良瀬川ハ、源ヲ庚申山ニ啓キ、足尾ヲ過キ、上野ニ
入リ、又足利、梁田ノ郡境ヲ貫流シ、桐生川、及ヒ彦間

川ノ下流川ヲ合セ、高山ニ抵リ、安蘇川ニ會シ、東流
シテ又思川ヲ併セ、終ニ利根川ニ達ス、

大谷川ハ、其源ヲ中禅寺ノ湖水ニ啓キ、東流シテ、河
内ノ大渡ニ抵リ、結川ニ合フ、

渦川ハ、標茅原、及ヒ真名子山中ヨリ流出シ、南下シ
テ枋木ヲ過キ、寒川郡ニ至リテ寒川トナル、

思川ハ、水源數派ニシテ、其都賀郡ノ古峯原山中ニ
發スルヲ、大蘆川ト謂ヒ、其都賀郡ノ糟尾山中ニ啓

クヲ糟尾川ト謂ヒ、久我、南摩、粟野等ノ山澗ヨリ出
ル諸流ヲ併セ、半田ニ抵リ、小倉川トナリ、壬生ニ至

リテ又黒川ヲ合セ、思川ノ本流トナリ、寒川ヲ經テ、
下総ノ古河ニ抵リ、渡良瀬川ニ入ル、

赤間沼ハ、本郡ノ南部赤麻旧赤間ト稱スニアリ、其直径約一里ニ下ラス、

姿川ハ、其源兩派ニメ、一

ハ河内郡ノ猪倉ニ發シ、

一ハ本郡板橋驛ノ東南

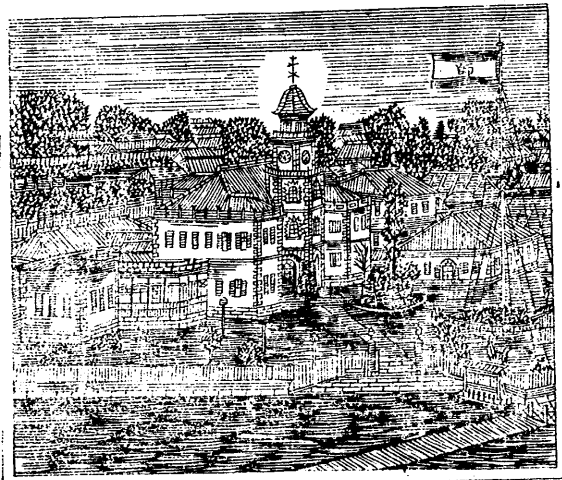
ニ起リ、共ニ流レテ欠下

ニ會シ、直流南下シテ羽

川驛ノ西ニ至リ、思川ニ

入ル、

枋木ハ、本郡ノ西南部



ニアル、縣廳所在ノ地ニメ、渦川其中央ヲ貫流シ、

人家櫛比、百貨輻湊、學校、病院等、美觀ヲ極メ、頗ル

繁盛ノ小都會ナリ、

鹿沼ハ、枋木ヲ距ル北五里ニアル、物産交市ノ地

ニメ、其繁華、枋木ト亞ケリ、壬生モ又一市街ニシ

テ、枋木ノ東北二里ニアリ、

日光ハ、徳川首祖ノ廟所在ノ地ニシテ、宮殿結構

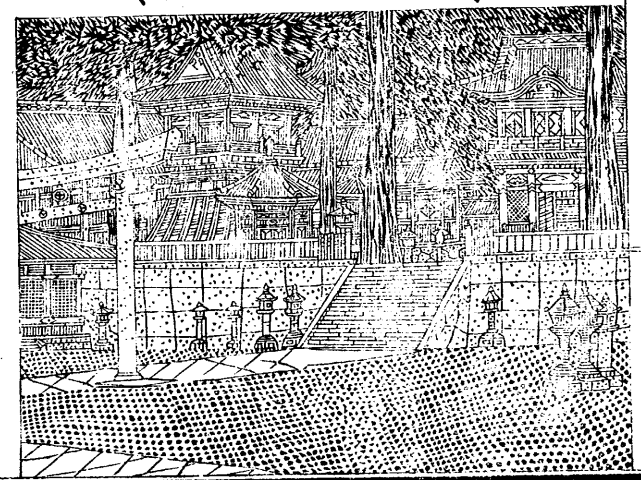
ノ美觀、蓋シ本邦第一ト稱シ、寺門相連ナリ、人家

亦密接シテ、東鉢石ニ連リ、山中ノ一大聚落トス、

山川秀美、氣候清凉ナルヲ以テ、夏日ニ方リテ、遊客

殊ニ多シ、

安蘇郡ハ、東北都賀郡ト相出入シ、西ハ足利、梁田及ヒ上野ノ利根、勢多山田ノ諸郡ニ接シ、南ノ一隅、渡良瀬川ヲ隔テ、又上野ノ邑樂郡ト相對ス、地勢大約ネ、峯巒重層シ、田沼以南ニ至リ、僅ニ平坦ノ地アリ、



地藏嶽宝來三峯、岩苔十二根本、氷室等ノ諸山皆庚申山ニ連續シ、郡中ニ蟠屈ス、總テ之ヲ安蘇山ト稱ス、

唐澤山ハ、本郡ノ中央ニ突立セル、小山ニシテ、藤原秀郷ノ城趾アリ、

安蘇川ハ、佐野川、又秋山川ト稱シ、秋山ノ山中ヨリ流出シ、南流シテ、渡良瀬川ニ入ル、

佐野ハ、往古、佐野氏ノ有地ニシテ、其聚落分チテ數部トス、入煙頗ル稠密ニシテ、上野ニ達スルノ要地ナリ、

足利及ヒ梁田ノ二郡ハ本國ノ西南隅ニアリテ、東
北ハ足利郡ヲ以テ安蘇郡ト接壤シ、西南ハ上野ノ
山田邑樂ノ二郡ト吻齒ス、

地勢約ネ平坦ニシテ、足利郡ノ北部ニ至リ、僅ニ安
蘇山ノ餘派綿亘スルノミ、

行道山ハ足利郡ノ北部ニアリテ、高山ニ非スト雖
モ、風光ヲ以テ世ニ著稱セラレ、大岩、鷄足、二山之
ト連ナル

足利ハ本郡ノ南部ニ位シ、足利氏崛起ノ古地ニ
メ、人家櫛比シ、蠶糸機械ノ業大ニ行レ、富豪巨商

市街ニ散布シ、頗ル繁

華ノ疆區タリ、而シテ

足利學校ハ、古昔小野

篁ノ経営セシ所ニシ

テ、孔聖ノ廟、今尚存セ

リ、

寒川郡ハ都賀郡ノ南部

ニ孕メル、一小郡ニシテ、

長サ僅ニ數里ニ滿タス、

地勢ハ都テ平坦ニシテ、四顧一ノ岡陵ヲ見ス、



寒川ハ、渦川ノ下流ニシテ、奔流南下シテ、直チニ思川ニ入ル、蓋シ、川流此地ニ至リ、殊ニ寒冷ナルヲ以テ、寒川ノ名ヲ負ヘリト云フ、

河内郡ハ、全國ノ中央ニ位シ、西南ハ、都賀郡ニ斜界シ、東ハ、芳賀塩谷ノ二郡ニ斜接ス、

地勢概ネ平夷ニシテ、中部ヨリ、漸ク北シテ漸ク高ク、終ニ黒髮ノ山脈ト相連ル、

羽黒山ハ、本郡ノ北部、絹川ノ濱ニ屹立シ、多氣山、其傍ニ沿ヘ、脈ヲ塩谷ノ諸山ニ通ス、

田川ハ、源ヲ都賀郡、今市驛ノ西北、山澗ニ發シ、直流

南下シテ、德次郎、宇都宮

ノ二驛ヲ經、又南流シテ、

下総ノ結城ヲ過キ、終ニ

絹川ニ入ル、

宇都宮ハ、本郡ノ中央

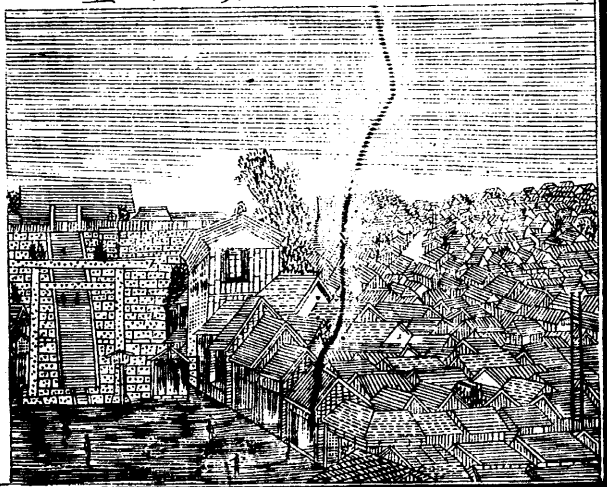
ニ位シ、東奥咽喉ノ要

地ニシテ、人煙稠密、物

貨輻湊シ、又陸軍鎮臺

ノ營所アリ、坂東ノ繁

華ヲ言フ者、必ス指テ此地ニ屈ス、



芳賀郡ハ、全國ノ東南ニ位セル、一郡ニシテ、西北、那須塩谷、河内、及ヒ都賀ノ四郡ト界シ、東南、常陸ノ那珂茨城、真壁ノ三郡ニ接ス、地勢、東部ハ、巒シテ、峯巒倚伏シ、中部以西ニ至リテハ、漸ク平夷ニ赴キ、復タ山ヲ見ス、佛頂、鷄足、雨卷ノ諸山ハ、本郡ノ東南ニ屏立シテ、常陸ノ國境ヲナシ、就中佛頂山、最モ高峰タリ、五行川ハ、源ヲ塩谷郡氏家驛ノ北ニ發シ、南下シテ、真岡谷田貝ヲ過キ、流レテ常陸ニ入ル、小貝川ハ、本郡ノ極北、大谷津ノ山中ヨリ流出シ、南

下シテ常陸ニ入ル、

真岡、及ヒ茂木ハ、郡中ノ一大部落ニシテ、殊ニ真岡ハ、晒木綿ノ産出ヲ以テ、世ニ着稱セラレ、那須郡ハ、本國ノ東北ニアル、一大郡ニシテ、東ハ、常陸ノ那珂久慈ノ二郡北ハ、磐城ノ白川郡、及ヒ岩代ノ會津郡ニ接シ、西南ハ、塩谷、芳賀ノ二郡ニ連ル、地勢ハ、大約ネ、曠漠タル原野ニシテ、所謂、那須野原ナルモノ、一郡ノ強半ニ居ル、而シテ東北ノ二隅ニ至リテハ、峯嶺重疊シ、瘡鹵磽确、沃土甚タ稀ナリ、那須嶽山火ハ、一名ヲ茶臼嶽ト云ヒ、本郡ノ北部ニ聳

ユル高山ニシテ、塩谷郡ノ高原山ト、犄角ノ勢ヲナセリ、

三方槍ハ、又那須嶽ノ西北ニ突立シ、岩代ノ國境ヲナス、

那須山ノ半腹ニ、温泉アリ、之ヲ那須ノ湯ト稱シ、

夏時ニ方リテ、浴客來集ス、又温泉ヲ距ル、北一里

ニシテ、一大毒石アリ、古來殺生石ト稱ス、然レ氏

今埋没シテ見ヘス、

大佐飛山ハ、岩代ノ國境ニ聳ヘ、塩谷郡ノ小佐飛山ト、相對峙ス、

男鹿嶽、大倉山、昆沙門嶽、月山等、皆脈ヲ那須嶽ニ發

シ、郡内ニ蜿蜒起伏セリ、

白笹嶽、高湯山、朝日嶽、夕日嶽、平岩山、箕崎嶽、黒尾谷

嶽ノ如キハ、皆那須嶽ノ餘脈ニ属セリ、

那珂川ハ、其源ヲ本郡男鹿嶽ノ、男鹿沼ニ發シ、那須

原中ノ小流ヲ合セ、郡腹ヲ横斷シテ、烏山ヲ經、芳賀

郡ノ一隅ヲ貫キ、常陸ニ抵リ海ニ入ル、

黒川ハ、三方槍ニ發源シ、三藏川ハ、磐城棚倉ノ山中

ニ濫觴シ、伊王野ノ南ニ抵リ、合流南下シテ、又稻澤

ノ東ニ抵リ、餘笹川ト會シ、川田ニ至リテ、那珂川ニ

注ク、

箒川ハ其源ヲ塩谷郡鷄頂山ノ中腹ニ啓キ、塩原山
澗ノ泉流ヲ併セ、東流シテ佐久山ヲ過キ、佐良土ニ
抵リテ、那珂川ニ入ル、

佐飛川ハ源ヲ大佐飛山ニ發シ、大田原ヲ過キ、箒川
ニ會ヒ、流レテ那珂川ニ入ル、

武茂川ハ八溝山ニ發源シ、馬頭ヲ過キ、久那瀬ニ抵
リテ、那珂川ニ入ル、

押川モ亦、八溝山中ヨリ出テ、盛泉ニ至リテ、常陸ノ
久慈川ニ入ル、

太田原ハ本郡ノ中央ニ在ル、街衢ニシテ、陸羽道
中、較著名ノ驛タリ、烏山及ヒ黒羽モ亦郡中ノ大
聚落ニシテ、煙草製紙等ノ産出頗ル夥シ、

塩谷郡ハ本國ノ北部ニ亘リ、西南ハ都賀、河内、芳賀
ノ諸郡ニ接シ、東ハ那須郡ト相連リ、北ハ岩代ノ會
津郡、及ヒ上野ノ利根郡ニ隣ス、

地勢ハ平地稀ニシテ、高山峻峯多ク、唯南面一方平
坦ノ地ヲ餘スノミ、

鷄頂山ハ世ニ高原山ト稱シ、本郡第一ノ高山ニシ
テ、箒根山、釋迦嶽、西平嶽、月山等ノ諸山、蜿蜒屈起シ、

大蛇尾山、小佐飛山、黒岩山、田代山、帝釋山、馬坂山、衣沼山、外昆沙門山、四日山、等ノ如キニ至リテハ皆其見孫ニ属スルモノトス、

塩原ハ鷄頂山ノ陰ニ在リテ温泉處々ニ湧出シ、浴舎相連リ、納涼佳絶ノ勝地ト稱ス、

絹川ハ源ヲ本郡ノ衣沼山ニ發シ、南流レテ川沼ニ抵リ、五十里川ヲ併セ、又河内郡ノ大渡ニ抵リ、大谷川ヲ併セ、直流南下シテ、終ニ利根川ニ入ル、此河ハ本國第一ノ大河ニシテ、往昔ハ國名ヲ負ハセテ、毛野川ト稱セリ、

荒川ハ高原山中ヨリ出テ、喜連川ヲ過キテ、内川ヲ合セ、那須郡ノ向田ニ抵リ、那珂川ニ入ル、

男鹿川ハ、那須ノ男鹿沼ニ濫觴シ、本郡ノ五十里ニ抵リ、五十里川ト云ヒ、湯西川ヲ併セ、川沼ニ抵リテ、

絹川ニ入ル、

全國ノ物産ハ、金、銀、銅、明礬、丹礬、硫黄、石灰、蠟石、人參、麻、茶、木綿、蠶種、生糸、織物、紙、煙草、漆、甬、陶器、干瓢等ナリ、

K110,29 -17

栃木縣地誌略終

明治十年八月九日版權免許

同 年十一月廿日出版

同 十三年一月十五日再版御届

定價 錢八厘

編輯出版人

阪部教宜

栃木縣士族

下野國那須郡馬山町住
同國都賀郡栃木町寄留

發兌書肆

山中八郎

栃木倭町三丁目

同

篠崎儀一郎

栃木嘉右衛門町